

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第24週 （6月13日～6月19日）

★お知らせ

○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第23週の0.57から第24週では0.27と急減していますが、安芸、中央西、幡多では増加し、安芸は注意報値を超えています。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19が原因で、幼児期から学童期に多い感染症です。別称「りんご病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。10日から20日の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。伝染性紅斑は、飛沫感染や接触感染をします。予防は手洗い、咳エチケットです。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第23週の0.03から第24週では0.07と急増しています。高知市で増加し、中央東では4週連続注意報値を超えています。

百日咳は、一年を通じて発生が見られますが、春から夏、秋にかけての発生が比較的多い感染症です。

周囲の人に感染しやすく、患者の家族に、百日咳に免疫がない人がいた場合、高い確率で感染します。

乳児期早期から罹患し、1歳以下の乳児、ことに生後6ヶ月未満の乳児では、無呼吸発作等、重篤になることがあります。予防対策はうがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○流行性耳下腺炎（おたふく風邪）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第23週の1.03から第24週では0.90とほぼ横ばいです。中央西、須崎で増加し、中央西では注意報値を超えています。

流行性耳下腺炎はムンプスウイルスによる感染症で3～6歳の小児に多い感染症です。耳の下やあごの下の腫れと痛みが特徴です。通常、1～2週間で軽快しますが、まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎等の合併症を起こすことがあります。

感染力はとても強く、咳等のしぶきによる飛沫感染と、唾液が付着した物への接触等による接触感染があります。予防対策には、手洗い、うがいを励行しましょう。

また、任意による予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

○夏型感染症（咽頭結膜熱（プール熱）・手足口病・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

夏型感染症のヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱が増加しています。

ヘルパンギーナの定点医療機関当たりの報告数は第23週の0.37から第24週は0.80と急増しています。ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状とした感染症で、2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤を呈し、口腔内に水疱や発赤が現れます。

2～4日で解熱し、7日程度で治癒しますが、高熱による倦怠感や口腔内の水疱が破れることによる痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水症状になることもあります。

合併症としては、熱に伴う熱性けいれんや、まれに髄膜炎や心筋炎が生じることがあります。

ヘルパンギーナの感染経路は咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによる飛まつ感染や、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介して口や眼などの粘膜に入って感染する経口・接触感染になります。

また、手足口病の定点医療機関当たりの報告数は第23週の0.37から第24週は0.57と増加し、咽頭結膜熱の定点医療機関当たりの報告数も第23週の0.20から第24週は0.37と増加するなど、夏型感染症の報告数が増加しています。

これら夏型感染症の予防対策は手洗い、うがいです。咽頭結膜熱ではこれらの予防対策に加えて、プールから上がった後、シャワーを浴び、他人とのタオルの共用も避けるようにしましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 23 週の 3.23 から第 24 週では 3.57 とほぼ横ばいですが、安芸、高知市、中央西、須崎で増加しています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス 6 例、カンピロバクター 4 例、サルモネラ腸炎 1 例、病原性大腸菌 3 例、病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例の報告の他、胃腸炎が増加しているとの報告もされています。

感染性胃腸炎の予防には、手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には、石けんでよく手を洗い、タオルは共用せず専用のものにしましょう。感染した人の便やおう吐物には、直接触れないよう、使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分してください。

高温多湿な季節となりました。細菌性の食中毒予防の 3 原則（食中毒菌を付けない、増やさない、やっつける）です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱（85℃で 1 分以上）は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけて下さい。

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱 1 例の届け出がありました。

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

- 肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。
- マダニ用の忌避剤（防虫スプレー）の使用も効果的です。
- 帰宅後はすぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。
- 野外から帰った犬や猫にはダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。
- 吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせずに医療機関で処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2 週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

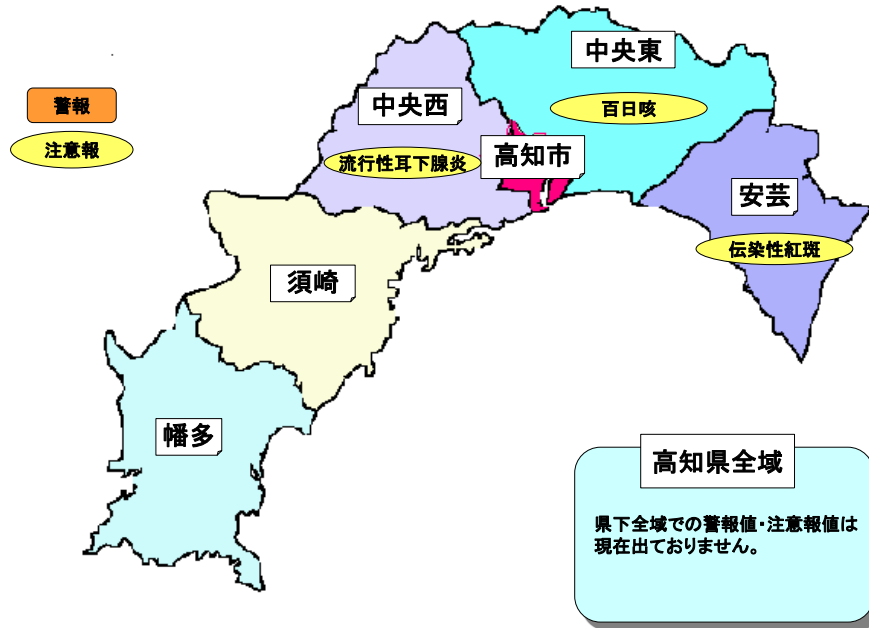
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
24 週（6月13日～6月19日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		3. 5 7	安芸、高知市、中央西、須崎で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 4 7	高知市、幡多で増加しています。
流行性耳下腺炎		0. 9 0	中央西、須崎で増加し、中央西では注意報値を超えています。
ヘルパンギーナ		0. 8 0	中央西、中央東、須崎、幡多で増加しています。
手足口病		0. 5 7	中央東、高知市で増加しています。

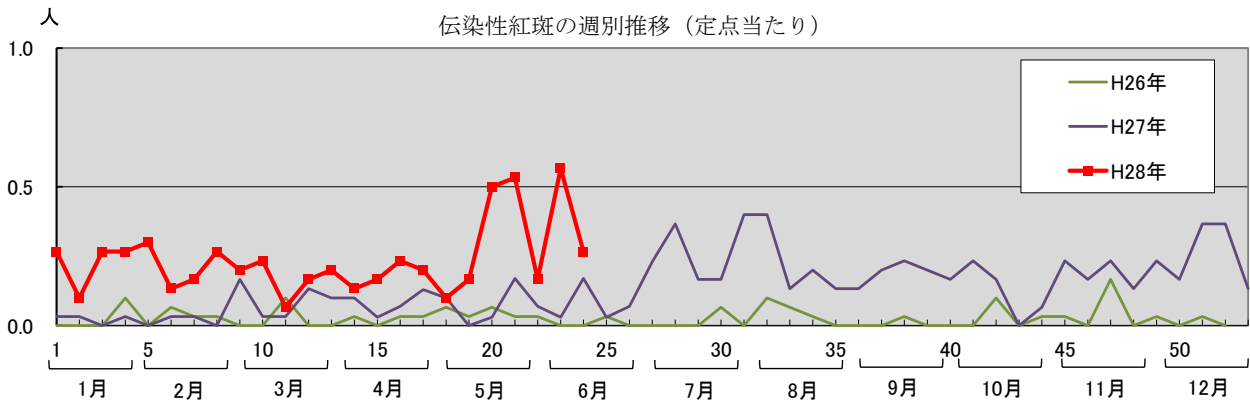
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

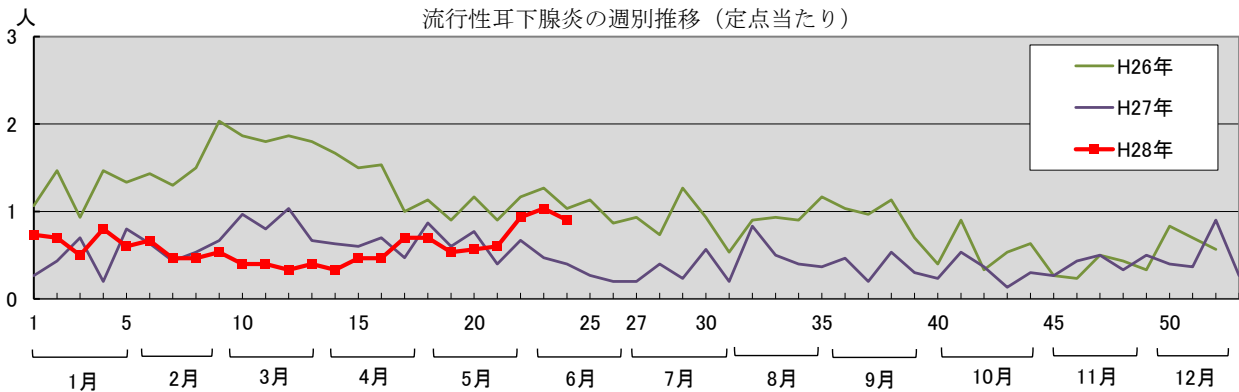
○伝染性紅斑 第24週： **0.27** (注意報値：1.00 警報値：2.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.27(前週:0.57)と急減しています。安芸1.00(前週:0.00)、中央西0.33(前週:0.00)、幡多0.20(前週:0.00)で増加し、安芸では注意報値を超えています。



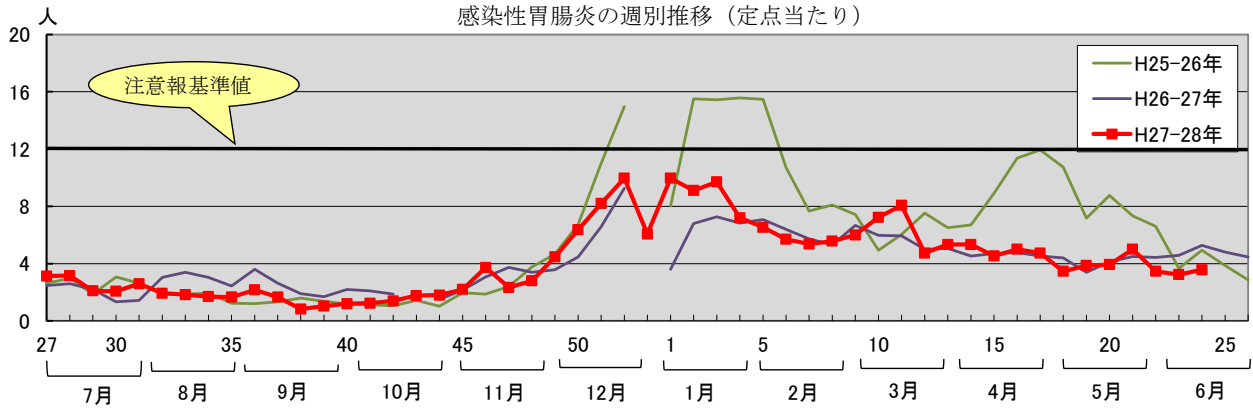
○流行性耳下腺炎 第24週： **0.90** (注意報値：3.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.90(前週:1.03)とほぼ横ばいです。地域別にみると、中央西3.33(前週:2.67)、須崎2.00(前週:0.00)で増加し、中央西では注意報値を超えています。



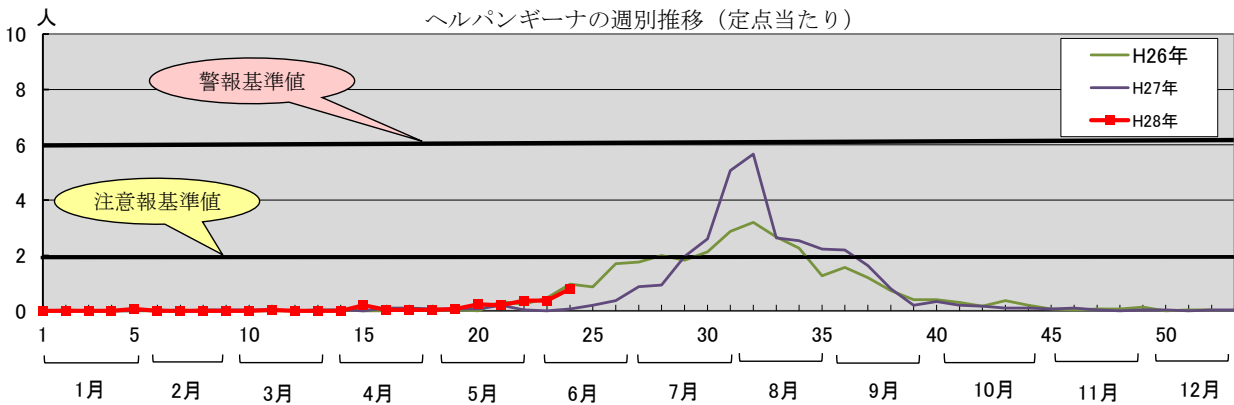
○**感染性胃腸炎 第24週： 3.57** (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.57(前週:3.23)とほぼ横ばいです。安芸 6.50(前週:5.50)、高知市 4.64 (前週：3.73)、中央西 2.33 (前週：1.33)、須崎 0.50 (前週：0.00) で増加しています。



○**ヘルパンギーナ 第24週： 0.80** (注意報値：2.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.80 (前週：0.37) と急増しています。中央西 1.67 (前週：0.33)、中央東 1.14 (前週：0.43)、須崎 1.00 (前週：0.00)、幡多 0.80 (前週：0.20) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★**病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
24	感染性胃腸炎	4	男	須崎	Norovirus GII NT
24	-	1	男	中央東	Parainfluenza virus 1
24	-	2	女	中央東	Parainfluenza virus 3

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
22	上気道炎	3	男	中央東	Echovirus 6
22	上気道炎	0ヶ月	男	中央東	Enterovirus NT
22	上気道炎	1	女	幡多	Enterovirus NT
23	ヘルパンギーナ	1	女	高知市	Adenovirus 41
23	無菌性髄膜炎	4	男	高知市	Echovirus 6
23	-	1	女	幡多	Enterovirus NT

★全数把握感染症

第24週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	54	80歳代女	中央西
		1	55	60歳代女	安芸
4類	日本紅斑熱	1	6	50歳代女	高知市
5類	梅毒	1	7	20歳代男	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	12	60歳代女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎4例（10ヶ月男2人、1歳女、2歳男）
		アデノウイルス咽頭炎1例（3歳女）
中央東	あけぼのクリニック	百日咳1例（12歳 PT-IgG131EU/ml）
	高知大学医学部附属病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（16歳女）
		ヒトメタニューモウイルス感染症1例（2歳女）
	早明浦病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（2歳女）
アデノウイルス感染症2例（1歳男、3歳女）		
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎7例 （4歳男2人、4歳女、10歳男、11歳女、13歳女2人）
		アデノウイルス扁桃炎3例（0歳女、1歳男、4歳女）
		病原性大腸菌O-1腸炎1例（22歳女）
		サルモネラO-9腸炎1例（8歳男）
		カンピロバクター腸炎2例（2歳男、10歳女）
		百日咳1例（10歳女 PT-IgG147EU/ml）
	細木病院小児科	カンピロバクター1例（9歳男）
		ノロウイルス2例（1歳女、2歳男）
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症1例（4歳男）
		マイコプラズマ肺炎1例（8歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	咽頭結膜熱1例（40代女）
		溶連菌感染症5例
		伝染性紅斑1例（10歳女）
		胃腸炎が増加
高知医療センター小児科	RSウイルス感染症2例（4ヶ月男、1歳男）	
	カンピロバクター(+)1例（3歳男）	
	病原性大腸菌(+)3例（0ヶ月男2人、0ヶ月女）	
	ヒトメタニューモウイルス感染症(+)1例（1歳男）	
中央西	石黒小児科	水痘1例（2歳女：水痘ワクチン1回接種済み）
		帯状疱疹1例（13歳女）
		単純ヘルペス1例（6歳女）
	くぼたこどもクリニック	流行性耳下腺炎3例 （2歳女2人、8歳男：3例ともおたふくワクチン1回接種済み）
		ヘルパンギーナ1例（1歳男：土佐市）
		おたふくかぜ2例（5歳女：県外、7歳男：須崎市）
日高クリニック	アデノウイルス+扁桃炎1例（4歳男）	
須崎	もりはた小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症3例（1歳女、2歳女2人）
幡多	幡多けんみん病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（1歳女）
		ヒトメタニューモウイルス感染症2例（2歳女、4歳女）
	さたけ小児科	膿痂疹1例（2歳男）

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成 28 年 2 月 15 日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016 年 6 月 16 日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016 年 6 月 14 日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義 (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式 (PDF)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

●政府広報オンライン 何が危ない？どう防ぐ？ジカウイルス感染症（ジカ熱）予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

★全国情報

第22号 (5月30日～6月5日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核413例

3類感染症：コレラ2例、細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症35例

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎4例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病2例、デング熱2例、日本紅斑熱5例、レジオネラ症18例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎8例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例、後天性免疫不全症候群23例、ジアルジア症2例、侵襲性インフルエンザ菌感染症6例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症37例、水痘（入院例に限る）7例、梅毒74例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風4例、風しん3例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、エキノコックス症1例、デング熱2例、レジオネラ症2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒49例、播種性クリプトコックス症3例、風しん1例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第24週 平成28年6月13日(月)～平成28年6月19日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第24週							計	前週	全国(23週)	高知県(24週末累計) H28/1/4～H28/6/19	全国(23週末累計) H28/1/4～H28/6/12
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	645 (0.13)	14,926 (310.96)	1,581,645 (319.59)	
小児科	咽頭結膜熱			2	6	1		2	11 (0.37)	6 (0.20)	2,502 (0.79)	104 (3.47)	29,914 (9.48)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	22	6		8	44 (1.47)	55 (1.83)	9,960 (3.15)	1,590 (53.00)	196,295 (62.18)	
	感染性胃腸炎	13	25	51	7	1	10	107 (3.57)	97 (3.23)	19,805 (6.27)	4,099 (136.63)	462,832 (146.61)		
	水痘		3	4	2		3	12 (0.40)	2 (0.07)	1,409 (0.45)	167 (5.57)	29,869 (9.46)		
	手足口病		7	10				17 (0.57)	11 (0.37)	810 (0.26)	68 (2.27)	4,680 (1.48)		
	伝染性紅斑	2		4	1		1	8 (0.27)	17 (0.57)	1,416 (0.45)	170 (5.67)	34,249 (10.85)		
	突発性発疹	1	1	6	1		1	10 (0.33)	8 (0.27)	1,811 (0.57)	222 (7.40)	32,823 (10.40)		
	百日咳		1	1				2 (0.07)	1 (0.03)	104 (0.03)	43 (1.43)	1,135 (0.36)		
	ヘルパンギーナ		8	5	5	2	4	24 (0.80)	11 (0.37)	1,676 (0.53)	73 (2.43)	6,018 (1.91)		
	流行性耳下腺炎			3	10	4	10	27 (0.90)	31 (1.03)	2,978 (0.94)	427 (14.23)	61,974 (19.63)		
RSウイルス感染症			3				3 (0.10)	1 (0.03)	280 (0.09)	579 (19.30)	23,223 (7.36)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	()	195 (0.28)		
	流行性角結膜炎							()	()	465 (0.67)	11 (3.67)	10,070 (14.59)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	2 (0.25)	197 (0.42)		
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	31 (0.07)	9 (1.13)	465 (0.98)		
	マイコプラズマ肺炎			2			1	3 (0.38)	4 (0.50)	276 (0.58)	116 (14.50)	5,582 (11.78)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	1 (0.13)	8 (0.02)	25 (3.13)	178 (0.38)		
	感染性胃腸炎						1	1 (0.13)	()	78 (0.17)	230 (28.75)	4,777 (10.08)		
計 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	55 (7.85)	117 (10.45)	33 (10.99)	7 (3.50)	41 (7.80)	269 (8.85)			44,268	22,861 (562.36)	2,486,121		
前週 (小児科定点当たり人数)	11 (5.50)	65 (9.28)	112 (9.72)	23 (7.66)	()	35 (6.80)		246 (8.00)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第24週							計	前週	全国(23週)	高知県(24週末累計) H28/1/4～H28/6/19	全国(23週末累計) H28/1/4～H28/6/12
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ										0.13	310.96	319.59	
小児科	咽頭結膜熱			0.29	0.55	0.33		0.40	0.37	0.20	0.79	3.47	9.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.14	2.00	2.00		1.60	1.47	1.83	3.15	53.00	62.18	
	感染性胃腸炎	6.50	3.57	4.64	2.33	0.50	2.00	3.57	3.23	6.27	136.63	146.61		
	水痘		0.43	0.36	0.67		0.60	0.40	0.07	0.45	5.57	9.46		
	手足口病		1.00	0.91				0.57	0.37	0.26	2.27	1.48		
	伝染性紅斑	1.00		0.36	0.33		0.20	0.27	0.57	0.45	5.67	10.85		
	突発性発疹	0.50	0.14	0.55	0.33		0.20	0.33	0.27	0.57	7.40	10.40		
	百日咳		0.14	0.09				0.07	0.03	0.03	1.43	0.36		
	ヘルパンギーナ		1.14	0.45	1.67	1.00	0.80	0.80	0.37	0.53	2.43	1.91		
	流行性耳下腺炎			0.27	3.33	2.00	2.00	0.90	1.03	0.94	14.23	19.63		
RSウイルス感染症			0.27				0.10	0.03	0.09	19.30	7.36			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.28		
	流行性角結膜炎									0.67	3.67	14.59		
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.25	0.42		
	無菌性髄膜炎								0.13	0.07	1.13	0.98		
	マイコプラズマ肺炎			0.40			1.00	0.38	0.50	0.58	14.50	11.78		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.02	3.13	0.38		
	感染性胃腸炎						1.00	0.13		0.17	28.75	10.08		
計 (小児科定点当たり人数)	8.00	7.85	10.45	10.99	3.50	7.80	8.85				562.36			
前週 (小児科定点当たり人数)	5.50	9.28	9.72	7.66		6.80		8.00						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869